



目 次

支部長ごあいさつ	(89、H10年卒) 高瀬 明子	1
総会での話題提供①「スポーツファーマシストとしての活動」	(80、H11年卒) 谷下田雄一	2
総会での話題提供②「タンパク質間相互作用を標的とした創薬と病理学」	(77、H2年卒) 増本 純也	2
寄稿 目標の立て直し	(10、R5年卒) 山崎 航	3
寄稿 ご縁は大切に	(80、H11年卒) 前川 竜也	4
寄稿 体外診断薬に使用される貴金属	(10、H26年卒) 青木 駿	5
寄稿 釣りと研究の共通点!?	(86、H11年卒) 鈴木 智之	5
寄稿 Re:同窓会35年会(第76回生)	(70、H元年卒) 畠山 伸二	6
ゴルフクラブ便り	(50、S44年卒) 金 知出	7
100字通信		7
2023年度 首都圏支部活動報告・支部役員		8
令和5年度会計報告、令和6年度予算(案)		9
令和5年度 支部年会費納入者一覧		10
編集後記		13
令和6年度首都圏支部総会案内		14
令和5年度首都圏支部総会集合写真		15



## ポストコロナ (Post-corona) の時代に

富山薬窓会首都圏支部長 (㊞、H10年卒) 高瀬 明子

富山薬窓会首都圏支部会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より支部活動へのご支援ご協力を賜り、ありがとうございます。皆様のおかげでこのように2024年(令和6年)の首都圏遠久朶を発行することができました。ご多忙にもかかわらず寄稿のために貴重なお時間を割いてご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症に対する感染症法上の位置付けが5類に移行し、この1年は、すっかりコロナ禍以前の生活に戻ったことを実感する日々でした。自分自身の日常生活や会社での仕事もそうですし、日本の各地で多くの外国人観光客を目にするようになったと思います。首都圏支部としては、会場とZoomでのハイブリッド形式での総会開催(6月)、「三金会」の開催(6回)など、Face to Faceでの交流の機会が増えて何よりでした。昨年に引き続き、新卒者や若手にもご参加いただけ、これは薬学部卒業式にて首都圏支部からご案内する貴重な機会をいただいたおかげです。当時の薬学部長の酒井先生をはじめ教職員の皆様に感謝申し上げます。初めて参加いただいた方も多くいらっしゃり、とても嬉しかったです。また、2月に発行された富山薬窓会の会報「遠久朶」第101号では、各支部での総会や、同期会・研究室同窓会の開催について数多くのご報告を拝見しました。行動制限が長く続いたコロナ禍の時期を乗り越えて、こうして同窓生の皆様がそれぞれ活発に同窓会活動を続けていらっしゃることを嬉しく思うと共に、首都圏支部も引き続き活発に活動して行きたいという思いを新たにしました。

以前の生活に戻ったことを実感しつつ、その一方で、コロナ禍の時期を経て個人の価値観や生活様式はますます多様になったことを強く感じています。このポストコロナ(Post-corona)の時代に、どうやったら多くの方が首都圏支部の活動に関心を持ち参画いただけるかという点は、大きな課題です。簡単に答えが見つかるものではないと思いますが、役員メンバー一同力を合わせて知恵を出し合いながら、色々と試行錯誤の上で進め、取り組んでまいりたいと思います。支部会員の皆様からのご意見もお待ちしております。

また、皆様には、年会費納入にご協力いただき、誠にありがとうございます。後ほどの「首都圏支部年会費振込みのお願い」のとおり、本会運営の継続には、皆様一人一人の会費納入によるご協力が不可欠です。引き続きご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

末筆になりますが、1月1日に発生した能登半島地震につきまして、お亡くなりになられた方々に対し謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。大変な毎日が続いていらっしゃると思いますが、できるだけ早く困難な状況が改善されますようお祈りいたします。

## 話題提供①

### スポーツファーマシスト としての活動

(㉔、H11年卒) 谷下田 雄 一

大学院時代に研究室が同じフロアで、当時大変お世話になった富山薬窓会首都圏支部長の高瀬さんより、今回話題提供投稿のお話をいただきました。貴重な機会をいただき、感謝申し上げます。この原稿を書くにあたり、当時所属していた薬品作用学研究室での日々の実験やイベント、そして準硬式野球部での出来事などいろいろなことが思い出されました。どれも忘れられない楽しい思い出です。

さて本題の話題提供ですが、皆さんは『スポーツファーマシスト』をご存じでしょうか？医療に係る最新のアンチ・ドーピング規則に関する知識を有する薬剤師のことであり、薬剤師資格を持つ方が（公財）日本アンチ・ドーピング機構による所定の課程を終了することで認定される資格です。活動例としては様々な形がありますが、アンチ・ドーピングに関する国体に向けた選手団への情報提供や、学校教育の現場における医薬品の使用に関する情報提供などがあります。私は医薬大卒業後、製薬企業の研究員として就職しましたが、いつか薬剤師資格を活かす活動もしてみたいと思っていました。そんな時、私の息子がたまたまクリケット競技を始めたことが転機となりました。クリケットはイギリス発祥の球技で、世界の競技人口はサッカーに次いで多く、2028年のロサンゼルスオリンピックにて追加競技として承認された今注目のスポーツです。日本では栃木県佐野市に日本クリケット協会の本部があり、国内で唯一の国際規格を満たす全面天然芝のグラウンドもあります。私はスポーツファーマシストの資格を取得し、現在は日本代表アンチ・ドーピングインストラクターとして、日本代表チーム

の選手らのアンチ・ドーピング教育や情報提供を行いサポートしています。私の薬理学の知識や薬剤師資格が活かしていること、そして協会・選手の活動に貢献できていることに喜びを感じています。私がスポーツファーマシストとなった詳細の経緯や、活動内容、本業との両立などについて、今年 of 首都圏支部総会でお話したいと思いますので、ご興味がありましたらぜひ参加を検討ください。

## 話題提供②

### タンパク質間相互作用を 標的とした創薬と病理学

(㉗、H2年卒) 増本 純 也

富山医科薬科大学77回卒、愛媛大学プロテオサイエンスセンター病理学部門／医学部医学科解析病理学講座の増本純也です。令和6年度富山薬窓会首都圏支部総会での「話題提供」の機会をいただき、ご推薦いただいた支部役員の先生方をはじめ会員の諸先生方には厚く御礼申し上げます。

平成2年3月に富山医科薬科大学の卒業式を終え、4月に同大で行われた第75回薬剤師国家試験を受験後に長野県松本市にある信州大学医学部医学科に再入学しました。富山では、友人たちに恵れた有意義な4年間を過ごすことができました。大学での講義・実習はいずれも難度と密度が高く、現職の礎を築いていただいたととても感謝しております。入学するまでは外科医を志望していましたが、医学部受験に失敗し、富山医科薬科大学薬学部に入りました。いったんは薬学で社会に貢献する覚悟を決めていたこともあって、医学部卒業後に発展の目覚ましい分子生物学や生化学の基礎医学に進むことに躊躇はなく、癌の原因を解明できそうな教室の大学院に進学しました。そこで、幸運にも、後にインフ

ラマソームと言われる細胞内自然免疫複合体の重要な構成分子であるASCというタンパク質をクローニングし、世界で初めて報告する機会に恵まれました。

今回の話題提供では、薬剤師のバックグラウンドを持った医師によるASC発見の未発表データ、関与疾患を紹介したいと思います。次に愛媛大学プロテオサイエンスセンターで行っているタンパク質間相互作用を標的とした創薬研究を紹介したいと思います。最後に、このような創薬研究において、病理組織学を理解することのアドバンテージをお伝えできればとミッション達成と考えています。

本研究は、「創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム (BINDS)」のご支援で、東京大学薬学部、大阪大学薬学部、製薬の先生方と協働させていただきました。その間偶然にも富山薬窓会の先生にお会いすることができ大変お世話になりました。今後も薬窓会の発展を祈念しますと同時に、引き続きご支援を賜りましたら幸いです。

## 目標の立て直し

(㊦、R5年卒) 山崎 航

皆様、初めまして。私は、令和5年3月に博士前期課程を修了いたしました、山崎航と申します。この度は首都圏遠久栄への寄稿の機会をいただき、誠にありがとうございます。学生時代は、分子神経生物学研究室で田渕准教授及び伊原助教のご指導のもと、脳に高発現な転写因子について研究を行っていました。

私は、学部4年で受けた薬学経済の講義の時からCRAになることを志し、就職活動中も様々な新薬の開発に携わることを目指してCROを志望した結果、CROに入社することはできました。しかし、数か月の研修・OJTを終えた後に携わることとなったのは、がんの“臨

床研究”のスタディーマネージャーでした。

率直に、想像していた働き方とは違いました。とはいえ、望んでいたあり方と多少違ったとしても、今学べる事をとにかく学んで今後の洞察に繋がるものを得たいと思い、新たに2つの目標を立てました。

1つ目の目標は、スタディーマネージャーの業務を通じて実務スキルを高めることです。特に、複数の試験を担当することで同じ期間中に異なる工程に取り組むことになるので、それぞれの作業のスケジュール感や重要度を基に効率的に業務を進行する能力の向上を目指します。2つ目は、がんの臨床研究のマネジメントを行う中で、臨床の場で重要な診療ガイドラインや最新の研究の情報を把握していくことです。大学院から取り組んできたことに引き続き、学術論文等も読む機会を作ることで英語力の向上も期待しています。新卒から関わるものとしては恐らく珍しい業務で、貴重な経験となることは間違いないと思っています。数年後、CRAの道へ再び進むことになるか、別の道に進むかは未定ですが、目の前のことからできる限りを吸収できるよう日々取り組んでまいります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

す。

卒業後は、約20数年を民間企業で創薬の研究に従事し、退職後は今の大学に転職しています。民間企業では最初は薬理研究が主体でしたが、いつの間にか安全性研究へシフトし、毒性試験や安全性薬理試験を経験しました。この間、日本毒性学会認定トキシコロジストや社会人博士課程(富山大ではありません…)で博士号を取得し、昨年春に大学へ移籍しました。この2行ほどで書いた経緯ですが、実はこれは自分の置かれた状況と周囲の方々のご縁によって導かれたものではないかと感じることがあります。

あるとき社内で異動が無かったら、あるとき他の企業の方々と出会っていなかったら、あるとき社会人博士の相談をしていなかったら…と“たれば”を言えばキリがないですが、ふと自分の人生を振り返ってみたときに、どれか一つが欠けても今の立場にはいないことは確信できます。その時には特に何も思わなかった出会いや出来事でも、振り返ってみれば今の自分にとって大切なことだったのでないかと思うことが多くなってきました。関東支部会で出会った諸先輩方や同胞との縁も大切にしていきたいと思います。

ここで一つ、私の担当講義に絡んだお話を(上記の話とは全く関係が無いです笑)。毒性学の分野には「All substances are poisons; there is none that is not a poison. The right dose differentiates a poison from a remedy. :すべての物質は毒であり、毒でないものはない。量こそが薬か毒かを区別する。」という言葉があります。医薬品については想像に難くないかと思いますが、食品でも同じことが言えます。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、体にとって必要な水も過剰摂取すると身体の電解質バランスが崩れて水中毒になり、神経症状の発現や死に至ることもあります。とはいっても、水のLD<sub>50</sub>は90,000mg/kg (90mL/kg) といわれていますの

## ご縁は大切に

(㊦、H11年卒) 前川 竜也

まずは、このたびの能登半島地震により被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

さて、私が富山を離れてからかれこれ20数年が過ぎました。現在は東京農業大学で教員をしております。大学在学中や就職したての頃には全く思いつきもしなかった所にいますが、これまで関わってきた皆様のご縁に導かれたのかもしれないと感じることがありま

で、非現実的な量ではありますが…。このようなことを如何に学生に興味を持ってもらえるかと日々、試行錯誤しております。何か良い指導方法をお持ちの方は、是非ご教示いただけると幸甚です。

最後に、このような寄稿の機会を与えてくださった高瀬支部長をはじめ幹事の皆様に感謝し、関東支部の益々のご発展を祈念いたします。

## 体外診断薬に 使用される貴金属

(㊟、H26年卒) 青 木 駿

私は薬剤師・博士として、貴金属を主力とする材料メーカーに勤務し体外診断薬の研究開発に従事してきました。多くの方には、医薬品と貴金属とのかかわりといえば白金系抗がん剤や金系の抗リウマチ薬程度しかイメージが湧かないかと思います。そこで今回は体外診断薬、特にイムノクロマト診断薬において貴金属がどのように用いられているのか皆様にご紹介できればと思います。

イムノクロマト診断薬は抗原検出を行う体外診断薬の一つです。インフルエンザ検査で綿棒を鼻に突っ込まれた後に使うアレといえればイメージがつくかもしれません。最近ではSARS-CoV-2の抗原検出キットとして医療機関だけでなくドラッグストア等でも見かけるようになりました。検体を作用させて5～15分程度で抗原の有無を簡便に判別できるため感染症診断の補助として重宝されています。同じ原理で妊娠検査薬としても使用されています。

この診断薬は紙片上に固定された抗体と展開液中に含まれる抗体とで抗原を認識することでその機能を発揮します。展開液側の抗体には色素が結合されているため、抗原認識が起こった場合紙片上に色素が集積し、目視に

て抗原の有無が判別できます。実際には紙片上の抗体はライン状に固定されているため、ウイルス等に由来する抗原が存在すると陽性ラインが観察できるようになります。

抗体に結合される色素には微細な粒子が使用されます。例えばシリカやラテックスのナノ粒子に染料を封入したものです。一方で貴金属のナノ粒子を色素に使用する場合もあります。特に金のナノ粒子は非常に鮮やかな赤色を呈し、視認性の良さを取り扱いのしやすさ、高い感度が得られる等の特徴からイムノクロマト診断薬ではよく使用されています。

診断薬を開発するうえでは、感度と特異度とのバランスが重要となります。しかし体外診断用医薬品としての承認を受けていない、研究用試薬として市販されているものの中にはこのバランスが悪く診断補助に適さないものもあります。承認を受けた製品が薬剤師による指導下での販売を義務付けられる一方、これらの低品質な製品は適切な指導なく市販されているという現状は大変残念に思っています。適切な製品選択や使い方の指導についても、薬剤師の皆様にご活躍いただきたいと感じています。

## 釣りと研究の共通点!?

(㊟、H11年卒) 鈴 木 智 之

「釣りと研究は似ている」このフレーズ、薬物生理学講座に所属しているときに酒井先生とも意見が一致したことを思い出します。未開拓のところを開拓していく行為が研究と釣りは似ていると感じます。魚群探知機で魚がいるとわかっている場所での釣り(VIP対応の釣り)は私としてはNGです。とはいえ砂漠で魚を釣るわけではなく、〇〇海岸で釣れているようだという仲間の情報程度は入手しています(学会聴講と類似?)。何番目の風車前との情報もあり、攻略が簡単なテーマもあり



ますが、基本的にそこには長居せず、より良い鉤脈探索（高難易度テーマへの挑戦）によく出発します。これが私の釣りスタイルで、target fishはシロギスです。最近製薬業界と同様（？）に茨城サーフで鉤脈を見つけるのにとっても苦労します。最近の砂浜での最長歩行移動距離は12km、判断ミスでこうなりません。潮の流れや時間なども考慮して大幅に方向・発想を変える必要もありますが、それを怠ると大体こうなってしまう。浜辺よりも漁港内がかなり良かったという日もありました。この部分も研究と似ていると思います。見た目の条件も良かったし、初めの判断は妥当だったと思います。そして、初めは希望に満ちていたと思います-「ここは釣れるはずだ」と。ただ、あるタイミングで判断を怠ると貴重な時間を無駄にしてしまいます。こういったリスクを減らすためには、適切なタイミングでの判断力が必要だと思います。仲間と事前に基礎情報を基に「選択肢」の議論ができていれば、適切な判断はしやすかったかもしれません。

「議論」と言えば、最近驚いたことがあります。全国シロギス大会で優勝経験のある方と偶然、某海岸でお会いする機会がありました。彼は長い仕掛け（10本針）を上手に投げ込んで、私の隣で沢山釣り上げています。彼に色々聞くと、糸の種類はこれで、投げ方はこうでなど新しい情報を色々してくれまし

た。自分も40年ぐらい投げ釣りしているのでそれなりの自信はあったのですが、私よりおそらく年下の彼の方がはるかに先を走っていました。ただ、最も驚いたのはそこではなく、彼は私の家から徒歩1-2分のところに住んでいるという情報でした。その時一瞬にしてトーナメント優勝者と距離が近くなったと感じられました。研究でもそういう感覚になる時がありますよね。その後、「茨城県民にシロギス釣りをもっと広めよう」という共通の目標ができました。ただ、ある程度以上の知識がないとそういったトップランナーとの会話もうまくできないこともあります。これは研究も似ていると感じており、慢心せず、日々進化する技術・バイオロジーをキャッチアップしていく姿勢を忘れないようにしたいと思います。ちなみにその彼は、「つくば釣り研究室」というブログをやっています。

## Re:同窓会35年会 (第76回生)

(㊦、H元年卒) 畠山伸二

令和5年10月21日(土)、オックスカナルパークホテル富山において、我々第76回生の同窓会35年会在開催されました<sup>(1)</sup>。日本全国から総勢35名の同期入学が集まり、大いに盛り上がりました。近況報告を通して、改めて、首都圏で活躍している同期が大勢いることを確認しました。次回の第76回生同窓会幹事も無事に決定し、続く2次会、3次会を楽しく過ごし、各自、帰路につきました。

久しぶりに同期で集まると、この楽しい集いを首都圏でも開催しようと、当然のように盛り上がります。しかし、振り返ると、5年ごとの同窓会で同じく盛り上がりながら、一向に実現していません。日常に戻ると、やはり皆さん、色々と忙しいです。

ただ、今回は違います。まずは、令和5年

12月16日（土）に同期4人が集まり、牛久大仏のお膝元で茨城県人会を決行。年明けの東京開催を目指すことにしました。そして、いよいよ、令和6年2月17日（土）、東京神田で第76回生首都圏同窓会を開催しました。総勢9名の参加でしたが、会場を居酒屋にしたところ、完全に20歳の盛り上がりとなり、引き続き、首都圏でも逢おうねとお互いに熱い約束を交わしました。

どうやら、このような集いがとても楽しい年代に改めて突入したようです。旧知を温めながら新しい交流を深め、また、富山や全国の同期とも連絡を取り合いながら次の全体同窓会に向かっていくのも、これからの大きな楽しみとなりました。

<参考資料>

- (1) 上原さゆり（旧姓 園原）、「同窓会35年会（第76回生）」、富山薬窓会 会報 遠久朶、第101号 2024、19頁

## ゴルフクラブ便り

「同じ学舎を共にせる楽しい集いを！」との小国益男さん（④⑦、S35年卒）の号令の下、最高の天気・雰囲気、「第101回薬窓会ゴルフコンペが10月18日（水）に紫カントリー（千葉県野田市）で行われました。

今回は、宅和知文さん（④④、H9年卒）の初参加もあり、大いに盛り上がりました。成績は次の通りでした。

優勝：小国益男（④⑦、S35年卒）さん。BG賞も合わせての。

2位：宅和知文（④④、H9年卒）さん。初参加での堂々の。

3位：金 知出（⑥⑥、S44年卒）でした。

「87才の老体ながら、楽しくラウンドさせて頂きました。有難うございました。」と伊勢谷篤弘さん（④⑦、S35年卒）の感想でした。

次回も「楽しいゴルフを」を合言葉に散会！

2023年12月記

（⑥⑥、S44年卒 幹事 金 知出）

## 100字通信

⑥⑥、S48年卒 中西 憲幸

健康ボウリングを始めました。無料のお試し期間を経て、チームを組んで毎週3ゲーム投球します。学生時代は150～160点出せましたが、今は100点越えがやっとです。マイボウルもマイシューズも揃えました。

④④、H9年卒 宅和 知文

ゴルフ便りで紹介頂いた様に、初めてゴルフ同好会に参加させて頂きました。初対面の大先輩方からも、まるで旧知の様に暖かく話しかけて頂き終始リラックスしてプレイさせて頂きました。また参加させて頂ければと思います。

④⑥、H元年卒 畠山 伸二

高校の友人からバンドしない？と誘われ、聞いたらギター募集でした。背中を押され、思いきって入門セットを購入。2年目に入り、曲の演奏までたどり着いたようです。月一のバンド練習に向けてコツコツ楽しんでます。

④⑦、H2年卒 紺谷 徹

そこそこ真面目にランニングを始めて5年目ですが、昨年の年間走行距離が1800kmと過去最長でした。1年かけたら日本縦断できるってことですが、その前に、そろそろ初マラソンに挑戦しようかと思案中です。

④⑦、H22年卒 宅間祐太郎

そろそろ新しい車が欲しいと思って昨年は色々試乗に行ったのですが、中々お目当ての車は見つからず。いいなと思って燃費が悪すぎて近年の原油高では買うことに躊躇し

てしまいます。

㉔、H10年卒 高瀬 明子

今年も色々な温泉へ行きました。私は硫黄泉の白いにごり湯が大好きです。これまで私の一押しは故郷の群馬県の万座温泉でしたが、初めて念願の乳頭温泉郷（秋田県）に行き、こちらの温泉にも魅了されました。思いがけず雪見風呂も楽しめてラッキーでした。

㉕、H30年卒 丸茂 勇輝

部署異動して2年弱経過しました。月1回以上出張しています。若者が自分探しで行きがちなインドに既に5回行きました。口を閉じてシャワーを浴びる、ミネラルウォーターで歯磨きする、信号のない道を命がけで横断する等、日本との環境の違いに圧倒され自分を見失いそうですが、なんとか頑張っています。

## 2023年度 首都圏支部活動報告

1. 令和5年度首都圏支部定期総会  
令和5年6月24日（土）AP東京八重洲
2. 幹事会  
令和5年4月より毎月1～2回、オンライン開催
3. 令和5年度薬窓会近畿支部総会  
令和5年6月11日（日）
4. 令和5年度富山・石川合同支部総会（Web参加）  
令和5年11月18日（土）
5. 令和5年度富山大学薬学部・大学院（薬学系）学位記交付式  
令和6年3月22日（金）
6. その他  
三金会  
コロナ終息に伴い5月から本格的に再開、幹事交代制、会場都度設定  
令和5年度関東越嶺会総会

令和5年9月30日（土）

第41回五福会

令和5年12月13日（水）（於：東京富山会館）

## 総会参加者・年会費納入者推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総会参加者（人）	75	—	50	49	61
年会費納入者（人）	286	258	245	221	215

## 2023年度 首都圏支部役員

支 部 長：㉔、H10年卒 高瀬 明子  
 副支部長：㉓、S61年卒 阿部 浩之  
           ㉔、H9年卒 平岡 良隆  
 幹 事 長：㉕、H元年卒 畠山 伸二  
 副幹事長：㉖、H2年卒 紺谷 徹  
           ㉗、H22年卒 宅間 祐太郎  
 役 員：㉘、S46年卒 加藤 健二  
           ㉙、S48年卒 中西 憲幸  
           ㉚、H2年卒 齋藤 みのり  
           ㉛、H9年卒 膝附 由香  
           ㉜、H9年卒 木村 徹  
           ㉝、H9年卒 宅和 知文  
           ㉞、H10年卒 川邊 香代  
           ㉟、H30年卒 丸茂 勇輝  
 監 事：㊱、S54年卒 道見 茂樹

**令和5年度（2023年度）会計報告**  
 （令和5年4月1日～令和6年3月31日）

I. 収入の部			単位 円
項 目	予 算	実 績	
前年度繰越金（普通預金）	2,659,082	2,659,082	
年 会 費	600,000	443,599	
総 会 参 加 費	0	0	
総会後会場での懇親会費	0	34,000	
普通預金利息	24	20	
その他（寄付）	0	53,008	
合 計	3,259,106	3,189,709	

  

II. 支出の部			単位 円
項 目	予 算	実 績	
総 会 費	100,000	153,340	
会 合 費（幹事会等）	10,000	11,700	
事 務 通 信 費	50,000	5,010	
同 好 会 補 助 費	40,000	40,000	
会 報 発 行 費	400,000	405,268	
出 張 費	100,000	114,060	
同 窓 会 事 務 局 費	66,000	66,000	
次年度繰越金（普通預金）	2,493,106	2,394,331	
合 計	3,259,106	3,189,709	

**令和6年度（2024年度）予算（案）**  
 （令和6年4月1日～令和7年3月31日）

収入の部		支出の部	
項 目	収 入	項 目	金 額
前年度繰越金（普通預金）	2,394,331	総 会 費	160,000
年 会 費	500,000	会 合 費	10,000
総 会 参 加 費	30,000	事 務 通 信 費	10,000
普通預金利息	20	同 好 会 補 助 費	40,000
		会 報 発 行 費	400,000
		出 張 費	90,000
		事 務 局 費	66,000
		次年度繰越金（普通預金）	2,148,351
合 計	2,924,351		2,924,351

# 令和5年度 支部年会費納入者一覧

## (合計 215名)

※令和5年4月から令和6年3月末までに年会費を納入された方の一覧です。

回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
36	昭和24	大和宗雄	48	昭和36	安宅久弥	53	昭和41	林 聰
36	昭和24	松岡邦衛	48	昭和36	油木劭之	53	昭和41	曲淵徹雄
38	昭和26	米丸洋子	48	昭和36	川上 惇	53	昭和41	南 法夫
41	昭和29	上銘外喜夫	48	昭和36	川上芳子	53	昭和41	村上則彦
42	昭和30	佐藤哲男	48	昭和36	久保一夫	54	昭和42	小木曾周子
42	昭和30	渡邊 静	48	昭和36	熊木健治	54	昭和42	奥田昌子
43	昭和31	久郷正孝	48	昭和36	定留温子	54	昭和42	佐藤和恵
43	昭和31	車田知之	48	昭和36	樋口明彦	54	昭和42	庄司孝市
43	昭和31	古徳 治	48	昭和36	船場定信	54	昭和42	庄司幸子
44	昭和32	紙谷得子	48	昭和36	前田伸子	54	昭和42	長谷見蓉子
44	昭和32	車田千秋	48	昭和36	村杉和子	54	昭和42	森川礼子
44	昭和32	鈴木芳子	48	昭和36	吉田誠一郎	54	昭和42	竹内美千代
44	昭和32	高木良造	49	昭和37	小川信吾	55	昭和43	石橋嘉夫
44	昭和32	高瀬清孝	49	昭和37	加藤昭彦	55	昭和43	井上みどり
45	昭和33	大郷利治	49	昭和37	林 幸子	55	昭和43	梅本美智子
45	昭和33	児玉英篤	49	昭和37	見義治子	55	昭和43	太田晴美
45	昭和33	佐藤 忠	50	昭和38	饗場みゆき	55	昭和43	滝沢春美
45	昭和33	佐藤池鶴子	50	昭和38	飯田武治	55	昭和43	檀原宏文
45	昭和33	橋浦十八	50	昭和38	川田桂子	55	昭和43	牧野由紀子
46	昭和34	川畑耕祐	50	昭和38	木原幸弘	55	昭和43	松野 萌
46	昭和34	齊藤諒三	50	昭和38	輿水誠子	55	昭和43	南 菖子
46	昭和34	結城澄子	50	昭和38	定塚紀志子	55	昭和43	奥村啓輔
47	昭和35	伊勢谷篤弘	50	昭和38	高野祐子	55	昭和43	山口節子
47	昭和35	市中滋郎	50	昭和38	福田昌平	56	昭和44	金 知出
47	昭和35	梅原 弘	50	昭和38	前田一郎	56	昭和44	鈴木英世
47	昭和35	上村恵子	50	昭和38	宮澤英雄	56	昭和44	都築正明
47	昭和35	京泉清男	51	昭和39	加賀美壯一	56	昭和44	深澤 宣
47	昭和35	小国益男	51	昭和39	島田庄蔵	56	昭和44	山本寿美子
47	昭和35	須藤昌二	51	昭和39	島田輝子	56	昭和44	山岸悦子
47	昭和35	関 誠	51	昭和39	古市郁子	56	昭和44	山本 恵
47	昭和35	野田久正	51	昭和39	宮城征子	56	昭和44	横山司甫
47	昭和35	古川貞子	52	昭和40	小野澤カツ子	56	昭和44	加藤正子
47	昭和35	室生知子	52	昭和40	是枝 潤	57	昭和45	天笠之珠子
47	昭和35	安川正巳	52	昭和40	星野洋子	57	昭和45	伊藤要一
47	昭和35	安川椒子	53	昭和41	安西慶子	57	昭和45	柴田千枝子
47	昭和35	若林庸夫	53	昭和41	岩崎孝一	57	昭和45	中島和彦
47	昭和35	橋 眞郎	53	昭和41	坂本理英子	57	昭和45	服部 仁

回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
57	昭和45	藤村元成	64	昭和52	鈴木利之	77	平成2	山本善一
57	昭和45	本田伊都子	64	昭和52	真船英一	77	平成2	織部幸子
57	昭和45	松林久一	65	昭和53	大岸洋子	84	平成9	正力(橋場)美香
57	昭和45	奥村淳子	65	昭和53	渡辺茂美子	84	平成9	ガブシ(羽生)明子
57	昭和45	古屋典子	66	昭和54	鹿田史紀	84	平成9	春野素子
58	昭和46	石井誠司	66	昭和54	金子美代子	84	平成9	膝附由香
58	昭和46	石田行知	66	昭和54	川崎英之	84	平成9	遠藤久美子
58	昭和46	上田宗央	66	昭和54	草柳淳子	84	平成9	木村 徹
58	昭和46	加藤健二	66	昭和54	鈴木千世	84	平成9	宅和知文
58	昭和46	千田耕平	66	昭和54	萩原いく江	85	平成10	川邊香代
58	昭和46	穂苺 茂	66	昭和54	原 信行	85	平成10	堀口(高瀬)明子
58	昭和46	松田閑枝	66	昭和54	真船恭子	85	平成10	岡田英之
58	昭和46	村田悦郎	66	昭和54	道見茂樹	85	平成10	岡 常夫
59	昭和47	石田志津子	66	昭和54	道見優子	86	平成11	大野いづみ
59	昭和47	駒田由美子	68	昭和56	広田和雄	86	平成11	谷下田雄一
59	昭和47	清水善行	68	昭和56	木村須賀子	86	平成11	鵜飼政志
59	昭和47	松本茂外志	69	昭和57	小林真弓	86	平成11	鈴木智之
60	昭和48	加藤マリ子	69	昭和57	須藤喜子	86	平成11	戸前昌樹
60	昭和48	田中加代子	69	昭和57	塚本尋子	87	平成12	穴澤和美
60	昭和48	鈴木むつ子	69	昭和57	橋本文江	87	平成12	森口秀美
60	昭和48	千田豊子	69	昭和57	竹内 誠	87	平成12	森口博行
60	昭和48	田谷栄子	70	昭和58	浦本博志	88	平成13	内野 章
60	昭和48	中島徳子	70	昭和58	茂呂今日子	89	平成14	設樂邦夫
60	昭和48	中西憲幸	71	昭和59	大川恵子	97	平成22	宅間祐太郎
60	昭和48	守屋 修	71	昭和59	黒田豊志	98	平成23	小林聡子
60	昭和48	丸山公代	72	昭和60	安達俊幸	99	平成24	今井亮太
61	昭和49	杉林堅次	72	昭和60	信濃豊進	105	平成30	丸茂勇輝
61	昭和49	富永節子	72	昭和60	上田伊津子	110	令和5	山崎 航
61	昭和49	中村直隆	75	昭和63	池田 靖			旧職員及び大学院修了生 渡辺和夫
61	昭和49	富永英嗣	76	平成元	朝倉 渡			旧職員及び大学院修了生 中込和哉
62	昭和50	西山信右	76	平成元	畠山伸二			旧職員及び大学院修了生 根本信雄
62	昭和50	萩野洋子	76	平成元	小林史明			旧職員及び大学院修了生 竹口紀晃
63	昭和51	萩野幸司	77	平成2	紺谷 徹			現教員 酒井秀紀
63	昭和51	本郷富江	77	平成2	増本純也			現教員 松谷裕二
64	昭和52	坂口一夫	77	平成2	的場義典			

## －首都圏支部年会費振込みのお願い－

皆様からのご賛同を得て、首都圏支部年会費の値上げに踏み切ってから3年が経ちました。会費変更初年度は支出超過分を約10万円弱まで減額することができましたが、それ以降、会費納入者数も毎年減っており、残念ながら令和5年度の支出超過額は会費変更前の水準に戻りつつあります。

本会ではつつましい経費削減策などを講じていますが、収入源は会費以外にはなく、本会運営の継続にはより多くの皆様からの会費納入によるご支援を必要としています。これからも役員一同、首都圏在住薬窓会員の皆様が気軽に集える会の運営に努力する所存ですので、皆様におかれましても、現状ご理解頂き、是非とも首都圏支部年会費の振込みをお願いいたします。

なお、コンビニ用の振込用紙には振込手数料（200円）を含めた金額が印刷してあり、首都圏支部には丁度2,000円が入金されることとなります。振込手数料はこれまで150円でしたが、コンビニの手数料改定のため200円に変更となりましたので宜しく願いいたします。また、会費納入を銀行振込でも行っていただけるよう、口座情報を下記に記載しましたので、振込用紙による振込みよりもインターネットバンキング経由に慣れている方、年会費の他に寄付いただける方には、ぜひご利用いただければと思います。

会費を振り込んでいただいた方は、会報「首都圏遠久朶」にお名前を掲載いたします。よろしく願い申し上げます。

北陸銀行新宿支店

口座名：富山薬窓会首都圏支部

口座番号：普通2552140

## ✉ メーリングリストへの登録のお願い ✉

今年度も首都圏支部総会は現地開催とWeb形式での配信を予定しています。その際、Web参加を希望される皆様には、事前に登録頂いたメールアドレスに招待メールをお送りし、そこに記載された情報をクリックいただくことで、パソコンやスマートフォンなどから参加いただくこととなります。

この機会にぜひ、事前登録をお願い致します。右にあるQRコードをスキャンすると、富山薬窓会首都圏支部メーリングリスト登録画面になりますので、そこにお名前、メールアドレス、卒業年（又は回）を入力してください。また、下記アドレスからも同じように登録できます。（既に登録いただいている方は再度の登録不要です。登録したかどうかよくわからない方は、重複してもまったく構いませんので、登録をお願い致します。）



<https://forms.gle/NLwy1BmSPUuPMZZ98>

登録いただいたアドレスは薬窓会首都圏支部からの連絡以外に利用せず、個人情報の管理には十分配慮いたします。ご協力を宜しくお願い致します。

## — 編集後記 —

皆様、遠久朶を最後まで読んでくださりありがとうございます。昨年の5月8日にコロナも5類へ移行され、この冬はインフルエンザと同レベルの対応が定着したように感じました。一方で、振り返って思い出すのは、元旦に発生した令和6年能登半島地震でした。私は初詣に地元の筑波山神社を訪れていましたので、その最中、参拝者たちの携帯電話が一斉に鳴り始め、何が起こったのかと驚いた記憶があります。義母が富山の新湊に住んでおりましたので連絡を取りましたところ、津波から逃れるために義弟と一緒に太閤山まで車を走らせ、夜までそこで待機しているとのことでした。いち早く津波からの避難と考えられたのは東日本大震災の教訓もあるのだろうと思います。母校、富山大学については本同窓会のネットワークにて大きな被害は無さそうだと伺った一方で、能登地方を中心に被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。最近では千葉での地震活動なども報道されており、今後も災害に備えることや、被災地の復興支援に努めることが重要だと感じます。（個人的にも昨年より会社の防災を担当するようになり、色々と勉強になる一年でした）

このような厳しい状況下でも、皆さんが遠久朶を読んでくださることは私たちの励みになります。引き続き、興味深い記事や情報をお届けできるよう努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（幹事 ㊦、H9年卒 宅和 知文）

## 事務局等連絡先

富山薬窓会首都圏支部事務局

（株）同窓会事務局：info@egaomax.com

電話：0120-10-9870

富山薬窓会首都圏支部幹事長

畠 山：toyamayakugakubu@yahoo.co.jp

## 令和6年度「富山薬窓会首都圏支部総会」のご案内

日 時：2024年6月29日（土）14：00～19：00（開場13：45）

場 所：総 会「AP東京八重洲」11階 L室（14：00～17：00）

懇親会「AP東京八重洲」11階 K室（17：00～19：00）

住 所：東京都中央区京橋 1-10-7（東京駅八重洲口地下街24番出口）

HP：<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-yaesu/>

開催形式：現地開催（総会のみオンライン配信あり）

会 費：7,000円（懇親会費含む）

卒業後5年目まで（2020年3月～2024年3月卒）：無料

話題提供：1 谷下田 雄一氏（第86回）

『スポーツファーマシストとしての活動』（杏林製薬株式会社）

2 増本 純也氏（第77回）

『タンパク質間相互作用を標的とした創薬と病理学』（愛媛大学  
大学院医学系研究科解析病理学講座）

\* 本案内は下記の富山薬窓会ホームページ内の首都圏支部ページでもお知らせします。

HP：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/okuda/shibu/syutoken/index.html>

\* 同期・先輩・後輩の方々をお誘いいただき、多くの方のご参加お待ちしております。





令和5年度首都圏支部総会（会場とZoomのハイブリッド開催）（令和5年6月24日）



三金会、若手の会、等の集い